



つながる、深まる、共感する

# 交流学習!

## 「総合的な探究の時間」における県立会津支援学校の取組①

今回、そして次回にわたり、県立会津支援学校高等部の「総合的な探究の時間」における大熊町の方々との交流学習について紹介します。今回は取組の概要についての紹介です。

大熊町の方々が、なぜ会津で暮らしているのか、なぜ大熊に戻れないのか、地域で共に生きていくということは・・・等を、地元の特産物、伝統芸能等を調べ、会津と比較しながら、生徒それぞれが考えを深めました。

先日、大熊の方々をお招きして行った発表では、生徒の発表に大熊の方々が、涙を流して聞いてくださり、一緒に大熊の「おらほのカルタ」合戦で盛り上がり、寒い体育館が、ほんわかとした温かさに包まれ、とてもよい心の交流ができました。

本校の児童生徒は、知的に障がいがある子どもたちですが、だからこそとても正直で、純粋で、かわいい子どもたちです。私の大好きな本校生徒の取組を、少しでも皆さんに分かっていただければ幸いです。



会津支援学校  
田中久美子教頭  
先生のお話から

## 「大熊町の人々と共に生きよう」 高等部2学年

### 取組の概要

#### 《目的》

- 今年度の総合的な探究の時間のテーマ「大熊町の人々と共に生きよう」に基づいて、大熊町の方々との交流を通して、大熊町に関する知識や理解を深めることができる。
- 地域の人々とのかかわりや自分たちの役割に気付かせ、生活の自立や社会参加への意識を高める。
- 主体的に活動し、必要な情報を収集して、分かりやすくまとめて発表する力を身に付ける。



6月「大熊町の方々の話を聞く会」

#### 《活動内容》

- 5月下旬～ ・大熊町や震災についての調べ学習
- 6月 ・「大熊町の方々の話を聞く会」
- 9月 ・「大熊中学校の生徒との交流会」(リモート交流)
- 9月～ ・話を聞く会や交流会を通して学んだことをまとめ、自分たちにできることを考える。  
・各作業班(作業学習)に分かれ、大熊町の方へのプレゼントの製作活動や11月の交流会の内容を考える。
- 11月 ・「大熊町の方々との交流会」
- 11月～ ・学習の振り返り、まとめ



9月「大熊中学校の生徒との交流会」

★★★次回は、「大熊町の方々との交流会」の様子について紹介します！★★★